

社会貢献活動（地域ボランティア活動）実施報告

（一社）北見林業土木協会

活動内容	外来種であるイタチハギ刈り取り作業
------	-------------------

1 実施年月日	令和8年9月15日
2 実施場所	北海道北見市常呂町字栄浦242-1 北海道森林管理局 網走中部森林管理署 2300林班（ワッカ原生花園）
3 参加会員数	
会員企業人数	15名
その他人数	1名
計	16名
4 活動内容	北海道森林管理局 網走中部森林管理署が管轄する海岸国有林「常呂町ワッカ原生花園（国定公園）」において、環境整備（外来植物イタチハギ駆除）ボランティア活動が実施され総勢39名が参加しました。当協会から15名の会員と協会事務局1名、北海道建設新聞社1名が参加しました。イタチハギは北アメリカ原産の落葉低木の一種で過去に海岸砂丘地の砂防植林樹種として活用されました。しかし現在では在来種植物の生育を阻害し、景観を損なうなどの問題を引き起こしています。 作業地は、サロマ湖ウルトラ100kmマラソンコースにもなっている場所で、延長1,000m両脇を5m幅程度に自生するイタチハギを駆除しました。 当日は天候にも恵まれ、会員は汗だくになりながら活動を行いました。なお、この活動については、北海道建設新聞にも掲載されました。

活動写真



開会式（主催である網走南部森林管理署挨拶）



開会式



外来種のイタチハギ刈り取り作業



外来種のイタチハギ刈り取り作業



外来種のイタチハギ刈り取り作業



外来種のイタチハギ刈り取り作業

北海道建設新聞

2026年(令和8年)9月17日(木曜日)

外来植物を駆除

北見林業土木協会
ワツカ原生花園で

【北見】北見林業土木協会(五十嵐龍会長)は15日、網走中部森林管理署が主催する北見市常呂町ワツカ原生花園での環境整備活動に協力した。園内に繁殖する外来植物のイタチハギ駆除に汗を流した。今回で13回目となる貢



献活動。協会のほか、北見市常呂総合支所や森林管理局職員OBで組織する北林会も活動に加わり、計39人で実施した。協会からは会員企業の

菊地組、西村組、渡辺組、大同産業開発、三共後藤建設、岸組、松谷建設、五十嵐建設、興和建設、村井小泉建設、水元建設、鐘ヶ江建設、津別建設と事務局を合わせて16人が参加した。開始に先立ち網走中部森林管理署の澤田浩也署長は「イタチハギ駆除を続けることがハマナスなどの植生回復につながる。足元に注意しながら、けがなく作業を」と呼び掛けた。一行は約800区間で、園内防風林に繁殖したイタチハギを枝切りはさみやのこぎりを使って刈り取った。